

平成8年 第4回定例会

行政手続条例が可決

Ⅱ 許認可の審査基準等の具体的設置や

行政手続の透明性を高めるためⅡ

平成八年第四回定例会
が、十二月四日から十九
日までの十六日間の会期
で行われました。

今回の定例会では十三
人の議員が一般質問を行
い、「福生市行政手続条
例」をはじめとする十六
案件、陳情十三件の審議
が行われました。

本会議の経過

第一日(四日)は、五人
の議員が一般質問を行いま
した。

第二日(五日)は、前日
に引き続き五人の議員が一般
質問を行いました。

第三日(六日)は、三人
の議員が一般質問を行った後、
十一案件、陳情十二件の審議

が行われ、「福生市行政手続条
例」、「平成八年度福生市一般
会計補正予算(第四号)」など、
八議案、陳情十二件を各委員
会に付託しました。

また、「陳情書の取り下げ願
いについて」及び「専決処分の
承認を求めることについて」(平
成八年度福生市一般会計補正予
算第三号)は承認され、福生
市の一般職の職員の平成八年十
二月期期末手当の支給割合を

定める条例は可決されました。
第四日(十九日)は、各
委員会に審査を付託していた
八議案と陳情六件の審査報告
が行われ、いずれも可決等さ
れました。
さらに当日、追加提出され

た福生市教育委員会委員の任
命についての議案一件と、意
見書一件を可決し、陳情一件
を所管の委員会に付託、また
福生市選挙管理委員会委員及
び同補充員の選挙が行われ今
定例会を終了しました。

意見書を可決

Ⅱ 関係各機関に提出Ⅱ

第九次治水事業五 箇年計画策定に関 する意見書

我が国の河川は比較的短い
距離を流下する関係上、流れ
が早く、台風や集中豪雨によ
る水害や土砂災害が毎年全国
的に発生し、多くの人命や莫
大な財産が失われている。一
方、夏期においては全国的な
異常渇水による農作物被害や
給水制限等、国民生活に多大
の財産的損失や生活上の不便
を与えている。

このような状況下において、
治水事業は国民の生命・財産
を守り、安全で快適な国民生
活を実現するための社会資本
整備の中でも、最優先的に取
り組むべき事業である。
特に、首都東京は、産業と
人口の集中により急激な都市

化が進み、水害・土砂災害の
みならず渇水対策に対する強
力な治水事業の推進が求めら
れているが、厳しい財政事情
により治水関係事業の遅延を
余儀なくされていることは憂
慮に堪えないところである。
また、都市化の進展により、
人々に潤いを与える水と緑の
空間確保の要請も高まってい
る今日、水質の改善や自然の
保全、美しい景観の創造等、
河川環境の整備推進が必要と
なっている。
よって、福生市議会は、市
民の健全な生活を守る立場か
ら、政府に対して治水施設整
備推進のために、平成九年度
から始まる「第九次治水事業
五箇年計画」の、現行計画を
大幅に上回る総投資額の確保
と計画の早期策定を強く要望
する。

戸籍法及び住民基本台帳に
基づく戸籍・戸籍の附票・除
かれた戸籍・消除された戸籍
の附票等は、本人の出生から
現在に至るまでの同一性並び
に相続上の身分関係を証明す
る手段として重要なものであ
る。
また、国民一人ひとりの自
己の表示は、多くは住所・氏
名をもって行っている。ここ
ろが、現在戸籍には各人の住
所が記載されていないために、
戸籍と住所との連絡を図るも
のとして、住所を記載した戸
籍の附票が住民基本台帳法に
基づき作成され、国民の同一
性証明に機能しているが、戸
籍法の改正に伴って戸籍の附
票の削除が行われようとして
いる。
我が国が世界有数の長寿社
会となり、八十年が平均年齢
的な生存期間となった今日、
八十年以上生存する国民が増
加しつつある。この現状とと
もに、社会経済の発展に伴い

転職・転勤による住所移転が
通例化した流動化社会におい
て、戸籍の附票等の重要性が
増しており、現行の保存期間
は時代にそぐわない制度とな
っている。
よって、福生市議会は、政
府において関係法令の改正等
を行い、次のとおり保存期間
の延長をされるよう強く要望
する。
一 除籍簿の保存期間を現行
八十年から百年とすること。
二 改製原戸籍の保存期間を
現行八十年から百年とする
こと。
三 消除された戸籍附票の保
存期間を現行五年から百年
とすること。

花いっぱい運動での葉ボタンの植え込み



定例会の日程

11月	▼ 28日 議会運営委員会
12月	▼ 4日 会期の決定 一般質問
1月	4日 議会運営委員会 一般質問
5日	議会運営委員会 一般質問
6日	議会運営委員会 一般質問
9日	横田基地対策特別委 員会
10日	建設委員会
11日	厚生委員会
12日	総務委員会
13日	道路交通問題対策特 別委員会
17日	議会運営委員会
19日	議案の審議、委員会 審査報告等 議会運営委員会 横田基地対策特別委 員会 議会運営委員会

可決等された案件 (要旨)

算(第三号)の専決処分。

◆福生市の一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
国家公務員の給与改定に準じて平成八年度の職員給与改定を行うための改正。

◆福生市行政手続条例
許認可の審査基準などを具体的に設定し、公開するほか行政指導の一般的なルールを定めるなど行政手続をより公正で透明なものとし、市民の権利の保護を目的とする条例の制定。

◆福生市税賦課徴収条例の一部を改正する条例
福生市行政手続条例の制定に伴い同条例の適用除外規定を設けるための条例の改正。

◆福生市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
福生市行政手続条例の制定に伴い同条例の適用除外規定を設けるための条例の改正。

◆福生市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例
福生市行政手続条例の制定に伴って用語を整理し、また同条例との重複規定を削除するための改正。

◆福生市の一般職の職員の平成八年十二月期末手当の支給割合を定める条例
支給割合を百分の百九十とする時限条例。

定例会に提出された案件は十六件で、いずれも原案のとおり可決等されました。その案件と要旨は、次のとおりです。

◆陳情書の取り下げ願について
陳情書第八十九号
農地等の固定資産税適正化に関する陳情書の取り下げ

◆専決処分の承認を求めることについて
衆議院議員選挙に係わる福生市一般会計補正予算(第三号)の専決処分。

◆福生市選挙管理委員会委員の選挙
天野悦年氏
鈴木幸恵氏
窪田成司氏
樋口拓行氏

◆平成八年度福生市一般会計補正予算(第四号)
一億五十一万二千円を追加し、総額を二百二十四億七千九百九十五万七千円とするもの。
主な内容は国の前倒し事業の追加、各事業の補助金の交付確定に伴う追加、減額。

◆市道路線の認定について
市道田園七十一号線、田園七十二号線、加美平七十九号線、三百二十六号線の四路線を認定。

◆市道路線の廃止について
市道二百八十五号線を全部廃止し、田園十九号線と田園二十八号線、田園二十八号線を一部廃止。

◆福生市教育委員会委員の任命について
来住野和也氏

◆福生市選挙管理委員会委員の選挙
第一順位 神谷宜徹氏
第二順位 小峰敏子氏
第三順位 細淵活美氏
第四順位 細谷弘一氏

◆除籍簿、消除された戸籍の附票等の保存期間の延長に関する意見書

◆第九次治水事業五箇年計画策定に関する意見書

◆福生市選挙管理委員会委員の選挙
天野悦年氏
鈴木幸恵氏
窪田成司氏
樋口拓行氏

◆小規模作業所に対する国庫補助金制度の改善と充実を求めている意見書提出に関する陳情書
陳情第八十九号 プラスチック製品の製造規制等を求める陳情書
陳情第八十号 乳幼児医療費助成制度における所得制限の撤廃を求める陳情書
陳情第八十三号 東京都の区市町村に対する各種補助金の一方的削減に反対する陳情書
陳情第八十三号 住民本位の公衆衛生行政拡充を求める陳情書
陳情第八十三号 農地等の固定資産税等適正化に関する陳情書
陳情第八十五号 不動産登記に係わる登録免許税制の抜本的見直し等に関する陳情書
陳情第八十六号 可燃ごみの毎日収集廃止に関する陳情書
陳情第八十七号 地方自治擁護、「行政改革」に関する陳情書
陳情第八十二号 地域経済活性化と市民の生活向上に関する陳情書
陳情第八十七号 障害者

◆陳情第八十三号 除籍簿、消除された戸籍の附票等の保存期間の延長に関する陳情書

◆陳情第八十四号 美日制実施に見合った「学習指導要領」の早期見直しを求める陳情書
陳情第八十一号 地方自治擁護、「行政改革」に関する陳情書
陳情第八十二号 地域経済活性化と市民の生活向上に関する陳情書
陳情第八十七号 障害者

◆陳情第八十九号 違法投棄された粗大ごみへの違法行為であることを明示したシール貼付等を求める陳情書
陳情第八十四号 市委託の清掃業者の従業員に対するリサイクル推進等のための研修実施に関する陳情書
陳情第八十三号 「ごみは集める人の身になって出しましょう」等の標語を市広報等に随時掲載することを求める陳情書
陳情第八十二号 東京都の区市町村に対する各種補助金の一方的削減に反対する陳情書
陳情第八十三号 住民本位の公衆衛生行政拡充を求める陳情書
陳情第八十三号 農地等の固定資産税等適正化に関する陳情書
陳情第八十五号 不動産登記に係わる登録免許税制の抜本的見直し等に関する陳情書
陳情第八十六号 可燃ごみの毎日収集廃止に関する陳情書
陳情第八十七号 地方自治擁護、「行政改革」に関する陳情書
陳情第八十二号 地域経済活性化と市民の生活向上に関する陳情書
陳情第八十七号 障害者

◆陳情第八十九号 違法投棄された粗大ごみへの違法行為であることを明示したシール貼付等を求める陳情書
陳情第八十四号 市委託の清掃業者の従業員に対するリサイクル推進等のための研修実施に関する陳情書
陳情第八十三号 「ごみは集める人の身になって出しましょう」等の標語を市広報等に随時掲載することを求める陳情書
陳情第八十二号 東京都の区市町村に対する各種補助金の一方的削減に反対する陳情書
陳情第八十三号 住民本位の公衆衛生行政拡充を求める陳情書
陳情第八十三号 農地等の固定資産税等適正化に関する陳情書
陳情第八十五号 不動産登記に係わる登録免許税制の抜本的見直し等に関する陳情書
陳情第八十六号 可燃ごみの毎日収集廃止に関する陳情書
陳情第八十七号 地方自治擁護、「行政改革」に関する陳情書
陳情第八十二号 地域経済活性化と市民の生活向上に関する陳情書
陳情第八十七号 障害者

陳情

各委員会で審査された陳情の結果は、次のとおりです。

採択

◆陳情第八十三号 除籍簿、消除された戸籍の附票等の保存期間の延長に関する陳情書
◆陳情第八十四号 美日制実施に見合った「学習指導要領」の早期見直しを求める陳情書
◆陳情第八十一号 地方自治擁護、「行政改革」に関する陳情書
◆陳情第八十二号 地域経済活性化と市民の生活向上に関する陳情書
◆陳情第八十七号 障害者

不採択

◆陳情第八十九号 違法投棄された粗大ごみへの違法行為であることを明示したシール貼付等を求める陳情書
◆陳情第八十四号 市委託の清掃業者の従業員に対するリサイクル推進等のための研修実施に関する陳情書
◆陳情第八十三号 「ごみは集める人の身になって出しましょう」等の標語を市広報等に随時掲載することを求める陳情書
◆陳情第八十二号 東京都の区市町村に対する各種補助金の一方的削減に反対する陳情書
◆陳情第八十三号 住民本位の公衆衛生行政拡充を求める陳情書
◆陳情第八十三号 農地等の固定資産税等適正化に関する陳情書
◆陳情第八十五号 不動産登記に係わる登録免許税制の抜本的見直し等に関する陳情書
◆陳情第八十六号 可燃ごみの毎日収集廃止に関する陳情書
◆陳情第八十七号 地方自治擁護、「行政改革」に関する陳情書
◆陳情第八十二号 地域経済活性化と市民の生活向上に関する陳情書
◆陳情第八十七号 障害者

継続

◆陳情第七十号 学校五日制実施に見合った「学習指導要領」の早期見直しを求める陳情書
◆陳情第八十一号 地方自治擁護、「行政改革」に関する陳情書
◆陳情第八十二号 地域経済活性化と市民の生活向上に関する陳情書
◆陳情第八十七号 障害者

取り下げ

◆陳情第八十九号 農地等の固定資産税適正化に関する陳情書

審議未了

◆陳情第八十四号 消費税率の引き上げと地方消費税創設に反対する陳情書
◆陳情第八十七号 政府に対する「消費税5%への増税中止」の意見書の提出を求める陳情書

議会日誌

10月	1日 東京都議会議長会役員会	14日 全国市議会議長会基地協議会役員会
2日 道路交通問題対策特別委員会行政視察(3日まで)	19日 東京都議会議長会役員会	19日 東京都議会議長会役員会
17日 議会運営委員会(市議会だより編集会議)	22日 JR五日市線複線化促進協議会	22日 三多摩地域廃棄物広域処分組合出納検査
18日 西多摩農業共済事務組合議会	25日 西多摩地区議長会	25日 西多摩地区議長会
22日 建設委員会行政視察(24日まで)	26日 行政改革推進委員会	26日 行政改革推進委員会
23日 多摩地区離職対策連絡協議会行政視察	28日 議会運営委員会	28日 議会運営委員会
27日 交通安全推進委員会視察研修(28日まで)	29日 西多摩衛生組合議会定例会	29日 西多摩衛生組合議会定例会
28日 全国市議会議長会基地協議会役員会(29日まで)	4日 平成8年第4回定例会(1日)	4日 平成8年第4回定例会(1日)
29日 東京都市収益事業組合議会	5日 平成8年第4回定例会(2日)	5日 平成8年第4回定例会(2日)
31日 山口県岩国市視察来市例会	6日 議会運営委員会	6日 議会運営委員会
11月	9日 横田基地対策特別委員会	9日 横田基地対策特別委員会
1日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第2委員会	10日 建設委員会	10日 建設委員会
6日 農業委員会行政視察(7日まで)	11日 厚生委員会	11日 厚生委員会
7日 青梅、羽村、福生地区都市下水道組合議会	12日 総務委員会	12日 総務委員会
8日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会	13日 道路交通問題対策特別委員会	13日 道路交通問題対策特別委員会
11日 瑞穂斎場組合議会臨時議会	17日 議会運営委員会	17日 議会運営委員会
12日 全国市議会議長会基地協議会関東支部総会	20日 議会運営委員会(市議会だより編集会議)	20日 議会運営委員会(市議会だより編集会議)
横田基地対策特別委員会行政視察(14日まで)	24日 国民健康保険運営協議会	24日 国民健康保険運営協議会
滋賀県野洲町視察来市	24日 東京都駐留軍離職者等対策協議会	24日 東京都駐留軍離職者等対策協議会

一般質問

(要旨)

市政のここが聞きたい

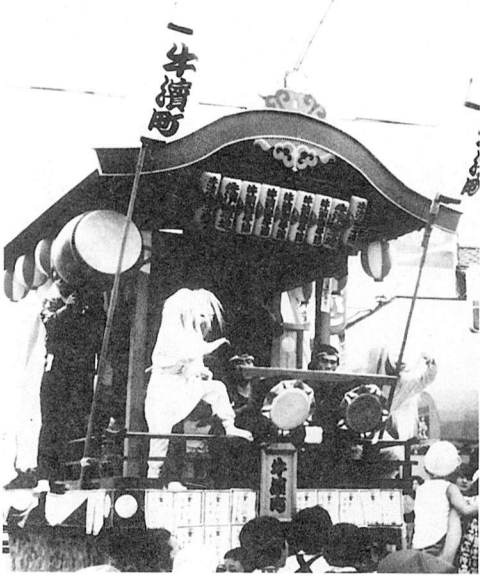
今定例会では、十三人の議員が一般質問を行い、市政全般にわたり市長にたずねました。三〇七面にその主な項目を掲載しましたが、紙面の関係から、すべての項目が掲載できません。詳しくは、会議録を図書館でご覧下さい。

なお、この一般質問者の内容は、質問議員の確認をしております。

祭り囃子を無形文化財に

登録できないか

清水信作 議員



▲リズム・音色が独特の祭り囃子

質問 現在、福生に伝わる祭り囃子は主に「重松流」であるが、明治の初期、「重松流」の生みの親古谷重松氏が江戸三大祭りの引き立て役であった神田、深川、目黒囃子のよるところを取り入れて独特の重松囃子をつくり上げ、指導したと言われている。

昭和初期の不況や戦争で一時途絶えたが、終戦とともに再度青年団の有志によって復活させて以来五十年経過し、現在では夏まつり、七夕まつり、産業祭等の市のイベント

に積極的に参加し、保存育成に努めている。

福生に伝わる数少ない民俗芸能の祭り囃子を無形文化財に登録する考えは、

またその他の福生市に伝わる民俗芸能の数と近隣市町村の民俗芸能に対する対応は、

教育長 文化財の総合調査の中で既に調査され、文化財総合調査報告書にまとめ、記録保存している。

文化財保護審議会でも祭り囃子を文化財登録するための審議を進めており、地域の特

色を示すものとして価値のあるものという評価をしているので、教育委員会としても無形民俗文化財として登録し、保存会などの伝承者の体制を整えれば平成九年度には保護団体として認定し、貴重な郷土芸能として保存を進めてまいりたい。

他の市内の民俗芸能としては天王囃子があり、昭和六十年に登録無形民俗文化財として登録し、現在も引き続き保存活動を進めていただいている。

近隣市の状況としては、羽村市が平成三年に、あきる野市が昭和四十九年から平成三年の間にそれぞれ指定をしている。

障害者用プールの新設を

質問 現在の市営プールは

立地条件、内容といふ他市に誇れるものであるが、各種障害を持った児童・生徒には狭き門である。身障者専用プールの新設の考え方は、

また各小・中学校プールの時間を区切って開放する形の水泳指導の計画があるかどうか伺いたい。

身障者用プールの新設は設置場所の確保の面などから難しい状況であり、身障者の水泳教室を充実させてまいりたい。

また学校プールでの身障者水泳教室は、管理面、安全面、施設面など問題も多く、困難と考えている。

「すすいすいプラン100」計画のその後の経過と市の対応は

林田武 議員



▲宮本橋交差点

質問 本年三月に東京都から突然発表された「交差点すいすいプラン100」は、交通渋滞緩和のために多摩地区で百カ所、西多摩地区は十八カ所、福生市では宮本橋交差点、新橋交差点、牛浜郵便局交差点、牛浜交差点の四カ所で、右折ラインを設置し、道路の改良を進めていくと説明された。

東京都懸案の都市計画道路が進展しない中で、別の予算でこの道路の改良をするとのことだが、都の厳しい財政状況の中で従来の都市計画道路の予算はどうなっていくのか。

また計画決定されたのが六年度で、七年度には測量を開始しており、計画の段階で市への説明はなく、八年度に

身障者用プールの新設は設置場所の確保の面などから難しい状況であり、身障者の水泳教室を充実させてまいりたい。

また学校プールでの身障者水泳教室は、管理面、安全面、施設面など問題も多く、困難と考えている。

人が集まる施策としての観光協会設立の考えは

質問 輝くまちとは活気にあふれたまちであり、活気にあふれたまちとは人が集まるまちであり、人が集まるには人を引きつける何かがなければだめである。

国道十六号沿いの商店街や七夕まつり、蛭まつり等の数々の市のイベントには多くの人が集まって盛況だが、単発である。

宇宙科学館の誘致も現実は大変難しい状況にある中で、人が集まる工夫、人が集まる施策をどのように考えているか。

また人が集まる施策の中心は観光事業がかなりのウェイトを占めると思うが、観光協会の設立は、第三セクターも含めてどのように考えているのか。

市長 人が集まるまちになるためには、魅力ある自然、文化、産業などに誘われる要素を持ち、創り出すまちづくりをしていくことが重要で、総合的な条件整備とPRが必要であると考えている。

そのようなことから、福生市の活性化につながる宇宙科学館建設を柱としていたが、社会・経済情勢の変化により計画どおり進んでいないが、今後とも議会の御協力をいただきつつ、一日も早く建設できよう努めてまいりたい。

観光協会の設立については、第三セクターの運営は厳しい状況であると聞いているので、平成九年度には「仮称」観光協会」設立準備のための組織について検討してまいりたい。

一般質問項目

(質問順)

- 清水信作 議員
- 福祉行政について
 - 障害者用プールの新設について
 - 社会教育行政について
 - 福生の民俗芸能の無形文化財登録について
- 林田武 議員
- 観光事業について
 - 人が集まる福生市にする施策について
 - すすいすいプラン100について
 - その後の経過と市の対応について
 - 学校教育について
 - デリバリーランチの実施後の状況について
 - (仮称)第8小学校の今後の対応について
 - (通称)自由広場の今後の活用について
- 吉沢嘉翁 議員
- 行財政改革について
 - 福生市行政改革推進委員会の答申に対する市の取り組みについて
 - 福生市行政組織の再編によるスリム化について
 - (仮称)第8小学校建設をやめた場合、第2小学校東部の児童の通学上の安全確保への対応はどうか
 - 都営住宅を建設した場合、福生市の財政負担の影響はどうか
 - 福生病院について
 - 東京都や国保連合会との話し合いはどうか
 - 福生病院の福生市、羽村市、瑞穂町の2市1町への移管について
 - 平成7年12月議会で採択された陳情に関して具体的などのような動きがなされたのか

心身障害者の共同作業 授産所開設の考えは

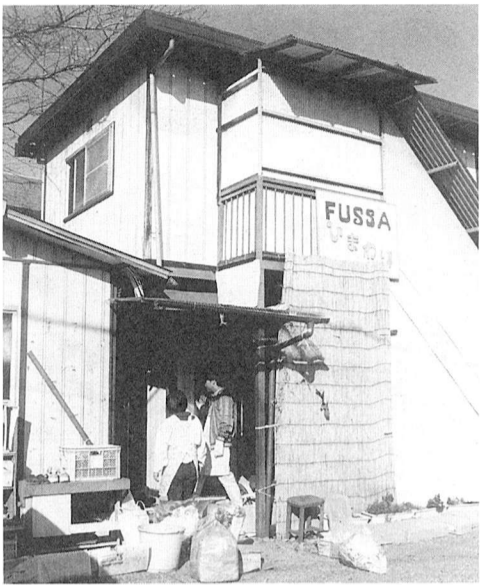
吉沢嘉翁 議員

質問 ①れんげ園の現状は、本来の訓練施設と異なつた内容になっていないかと思ふが、どのように検討され、見直しをするのか。

②ひまわり共同作業所は建物の老朽化、通所者の増加で狭隘となり、作業環境が悪化しているが、法定外の施設であるため種々の援助が受けられず苦しい運営となっている。今後の援助の考え方は。

また、都から移管される保健センター内に授産所の設置が可能かどうか伺いたい。

市長 ①通所者の大半が重度の障害者で、本来目的としての働く場の確保や社会的自立の助長を図る面からはその運営に苦慮している。今後は福祉センターで実施している障害者のデイサービス事業の利用を図るなどして、社会福祉協議会、保護者とも十分協議しながら通所者のよりふさわしいサービスの確保に努めたい。



▲ひまわり共同作業所

再編成し、職員の適正配置、組織のスリム化、事務事業の効率化ができると思ふかどうか。

また不定型事務の電算化、各種証明書の自動交付機導入、情報公開制度に対応できる情報の収集、文書の電算化をより一層進める必要があると思ふかどうか。

市長 ①本年十月に行政改革大綱及び同推進計画を策定した。今後は財源の確保、行政全般にわたる見直しを図り、生み出した財源を新たな市民要望に生かしていく。また、行政改革の推進をはかるため、私を本部長とする行政改革推進本部において、進捗状況を定期的に把握する。なお、十一月二十六日に行政改革推進委員会には新たに策定した行政改革大綱及び同推進計画を報告した。議員さん方には今会期中に報告する予定である。

②各部署の業務の見直し、機能別に統合、再編成等については、業務の性質を考慮し、準備が整ったところから順次具体的に対応していきたい。

またコンピュータ化による効率化として内部に電算業務推進計画検討委員会を設置し、向こう五年間のO A化推進計画を策定し、効率化、経費削減による住民サービスの向上を図ってまいりたい。

行財政改革について

質問 ①行政改革推進委員会の答申が出されて八カ月が経過したが、答申に対しての取り組みと、現在までの進捗状況を伺いたい。

市長 ①行政改革推進委員会の答申が出されて八カ月が経過したが、答申に対しての取り組みと、現在までの進捗状況を伺いたい。

(仮称) 福生第八小学校の建設について

仲村清信 議員

質問 ①都営福生第五住宅跡地の小学校用地確保の、東京都との協定書についてどのように対応するのか。

昭和六十年七月市長部局より教育委員会に学校用地確保の要望が出された。昭和六十一年三月小学校用地確保の協定書が東京都と締結された。平成三年十月第八小学校建設について当市学校教育の質的向上に役立つモデル校建設をすると発表された。平成四年七月に東京都から学校用地売り払いの決定を受けた。モデル校建設の実現に向けて用地取得の行動を起こさなかったのか。

②仮称第八小学校建設をやめた場合、第二小学校東部の児童の通学上の安全対策上、今後の具体的解決策を伺いたい。

市長 ①都営住宅建て替え問題から十年余が経過し、

社会、経済情勢の変化と、教育委員会の児童数の見直しも新たに学校建設をするという状況にないことから、都の要綱に拘束されない有効な活用が考えられないか検討してきた。

しかし、学校用地以外の利用は不可能とのことから、このまま結論づけをしないまま、放置状態は許されないとどこまで至っており、この際学校建設の方向転換を図らざるを得ない状況から、市としての結論を出していく時期と考えるものである。



▲都営住宅跡地

園等の建設は、都の負担でされ、児童館及び公園については無償貸付とし、ランニングコストについては市の負担で願いたいとのことである。提案は有効な

の安全確保は極めて重要な問題との認識に立ち、交通事故防止に向けて努力してまいりたい。

福生病院の二市一町への移管

都、国保連合会との対応は

質問 ①平成六年五月に国保連合会は二市一町に福生病院移管についての申し入れを行い、移管条件を提示してきた。

これを受けて二市一町の首長が協議し、資産の問題があるがこれを買い取り、病院経営を引き受けるとの方向づけを合意したと言われているが、その後の協議はどうなっているのか。

②経営を引き受けるとしたときの福生病院の資産の評価、累積赤字の問題、二市一町の財政負担の問題、東京都への対応などの具体的な進捗状況は。

市長 ①平成六年十月の国保連合会との会議で移管に対する方針を伝え、その後十二月定例会で福生病院を二市一町の組合病院にする陳情が採択されたことに伴い、事務担当者が東京都へ出向き財政支援の要請を行ったが、この時点では厳しい回答であった。

②本年六月に東京都と二市一町の部課長で構成する福生病院移管に関する連絡協議会を設置し、現在まで三回の幹事会と二回の協議会が開催されたが、移管条件に大きな隔たりがあり、協議が整わずに今日に至っている。

地域医療の確保という点で非常に重要な問題であり、今後とも慎重に取り組みでまいりたい。

赤星行人 議員

○公金収納事務について
市内郵便局での公金収納の取り扱い状況について

○都市基盤整備について
①横田基地の地下横断道路の建設について②八高線以東における生活道路の整備について

森田昌巳 議員
○JR五日市線複線化について
今後の福生市の対応について

○田28号線外の整備完成後の考えについて
路線下における緑化対策や湧水利用等について

遠藤洋一 議員
○横田基地について
①5市1町と東京都の協議について今後の考え方について③10月の滑走路工事の影響について

○広報「ふっさ」の内容について
①自衛隊員募集掲載について②今後の考え方について

○生涯教育について
①武蔵野台児童館・図書館のあり方について②今後の運用の考え方について

原 敏子 議員
○市民の健康を守る施策について
人間ドックに補助金を実施することについて

○福祉行政について
①高齢者住宅への入居条件の保証人制度を廃止することについて②福生市の「障害者保健福祉計画」策定について

○教育行政について
登校拒否、不登校問題について

小野沢 久 議員

○市長の政治姿勢について
衆議院議員選挙の対応について

○来年度の予算編成について
①基本的な考え方について②財源確保の具体策について③東京都のマイナスイニングの影響はどうか④市民から信頼される市役所について⑤宇宙科学館予定地売り払いの残額の見直しについて

○子育てのしやすいまちづくりについて
①少子化への対応策について考えているか②エンゼルプランの重点施策にどう取り組むのか

○道路行政について
①工事後の復旧について②陸橋通りの見直しについて③行き止まり道路対策について

鈴木暉一郎 議員
○公園整備について
玉川上水を利用してかに坂公園を親水公園にしてはどうか

○福生市の歌について
①普及にはどのような取り組みで来たのか②小・中学校の音楽授業での指導について

田村正秋 議員
○中学校デリバリーランチ等について
実施後の状況と今後の対応について

○福祉行政について
①福祉センターの検討結果と重度障害者対策について②保健所の後利用等について

○公園利用について
①土・日の南公園の利用について②都市景観事業の



市内郵便局での公金収納の取扱はできないか

赤星行人 議員

質問 当市は市税の収納率が九十・二％と極めて低く、二十七日中二十六位、滞納額は八億四千万円に達している。

納期内納付の徹底や納税機会の拡大を図ることにより、収納率を高めることが重要だ

と思うが、市民の手近にあり、親しまれている郵便局に窓口を広げ、納税が速やかにできるようにすべきと思うがどうか。

また、窓口収納としては上下水道料金だけの取り扱いだが、自動振込として固定資産税、市・郡民税、軽自動車税、国民健康保険税、国民年金保険、住宅使用料、保育料についての取り扱いの考え方や、多摩地区における状況は。

収入役 現在は上下水道料金と滞納繰越分の郵便振替による収納事務のみを郵便局で取り扱っているが、現在、身近な郵便局を収納代理店とするよう、市長会を通して手数料の改善等を国に願っている。

しかし、全国的に市税の収納率の低下が見られ、最近、手近な郵便局を公金収納代理店とする方向にあり、二十七日中十一市が実施している。今後はコンピュータソフトの改善等、平成九年度中には準備を整え、十年度から市税及び国民健康保険税については実施できるように進め、その他保育料、住宅使用料についても早期に取扱いができるよう準備を進めていきたい。



▲望まれる収納代理店としての郵便局

横田基地の地下に横断道路を建設する考えは

質問 八高線が電化されて複線化になれば列車本数がふ

え、踏切の混雑が予想される。五日市街道第五ゲートより地下道を開通して立川市西砂町に抜ければ、拝島教習所周辺の大渋滞が緩和されると思うが、都道であるため周辺自治体とも話し合いながら東京

部、または防衛施設庁に要請運動をする考えはないか。

市長 まことに大きな構想であり、私もこうした構想の実現が図られたらと考え、以前に防衛施設庁長官にお会いした際に強く要請したが、構想には大変興味を示されたものの、実現の可能性については極めて慎重であり、難しい

とといった感触であった。基地司令官にも以前に要請をしたが、基地の地下を横断するという事は司令官の判断を超える大きな問題とこのことであるとのことであった。こうしたスケールの大きな問題の解決を図るためには、長期的展望に立った息の長い運動が必要であると考えている。

五日市線改善計画による熊川駅周辺のまちづくりは

森田昌巳 議員

質問 本年三月、JR五日市線複線化促進協議会より調査報告書が出され、五日市線の改善計画が決まった。

これにより熊川駅周辺、田園地区が大きく変わろうとしている。

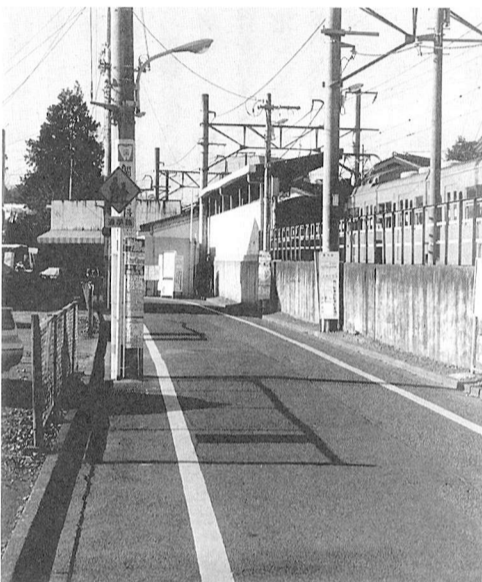
都市整備事業もこの計画に沿って進められると思うが、熊川駅の移転と周辺整備、複線化、奥多摩街道の立体化、都立宇宙科学館等駅周辺のまちづくりを考えたとき、市の活性化、輝く街福生構築の重要な事業になると思うが、総合的まちづくりの観点から今後どう取り組むのか。

市長 当市はJR五日市線の出入口部分に位置し、鉄道問題一つをとっても事業規模

といった感触であった。基地司令官にも以前に要請をしたが、基地の地下を横断するという事は司令官の判断を超える大きな問題とこのことであるとのことであった。こうしたスケールの大きな問題の解決を図るためには、長期的展望に立った息の長い運動が必要であると考えている。

は大変大きなものである。単に鉄道整備問題だけとしてとらえることは事業に取り組みメリットがないので、総合的なまちづくりの視点で検討しなければならず、現在、熊川駅周辺の面的整備を含めた計画づくりの基礎調査を、平成九年度の複線化促進協議会事業として、福生市に大きな財政負担がからぬ方法で取り組めないか提案し、協議している。

地元への説明会等は基礎調査を行い、話し合いのための材料をまとめた後、市議会や地元で説明していきたいので、いましばらく時間をいただきたい。



▲整備が望まれる熊川駅前

周辺整備が進む田二十八号線緑化対策等今後の計画は

質問 下の川改修工事も完了し、小中学生の通学路、生活道路など田園二十八号線の周辺も見違えるように整備された。

この周辺は数少ない豊かな緑地として下の川緑地を保護し、湧水を活用し、遊歩道を整備して市民の安らぎと憩いの場になることも望まれるが、今後の整備計画について聞きたい。

市長 近年、都市施設を整備する際、緑地保全を含む住環境の改善が重要視されており、当市も良好な生活環境を目指し、快適で住みよいまちづくりのために公園、緑地を

計画し、その実現に力を注いでいる。陸橋通りから多摩橋通りまでの約二km、面積約二万㎡に及ぶ田二十八号線沿いの下の川緑地も大変貴重な緑地帯であり、現在約六千三百五十㎡を土地開発公社が取得している。未買収地も引き続き交渉を進めており、湧水を利用したせせらぎ等の整備はまだ未買収のところもあるため、今後緑地整備計画にあわせて実施したい。

また、防衛補助事業を予定しており、実施は先になると思うが、湧水が一番多く見られる五日市線の下流側から清水坂までの間に、土地所有者の同意が得られれば暫定的工事を行い、流してみたい。

二次利用等について③長沢町の内堂川を取り込んだ公園の設置について④道路行政について①すいすいプラン1000について②3・4・6号線と周辺整備について

松山 清 議員
消費税について
①税率5%への引き上げによる市財政への影響額について②税率引き上げに対する市長の見解について
○横田基地について
①基地資産、評価額の上昇に伴う基地交付金の増額は考えられるのか②軍人軍属等への自動車任意保険加入に伴う補償限度額の大幅引上げを求める考えは
○中学校での業者弁当販売について
①実施から今日までの注
①児童館の利用状況と充実について②地域体育館の

横田基地について

東京都との協議は

遠藤洋一 議員

質問 ①本年五月に青島都知事は東京都知事として初めて横田基地の視察をし、五市一町の首長と意見交換をした中で連絡会設定の合意がなされ、最近都庁内で協議されたということだが、その内容について伺いたい。

②九十三年十月に発生した航空機燃料漏れの事故処理のその後の経過は。

市長 ①合意に基づき十一月、都庁で知事と周辺市町長出席の中、「横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会」が発足した。共通の諸問題解決に向け、協議し、より住民福祉の向上を目指すとして米空母艦載機飛行訓練の全面的中止等四点到りわたり関係機関及び米軍に対し共同で

要請していくこととなった。また日米地位協定など三点を今後の検討事項とした。
②十一月の二回にわたる基地側の説明によると、漏出燃料六万八千リットル余のうち十月末までに約六十三%の四万二千八百リットルをくみ上げ、引き続き継続中であり、さらに十月中旬よりくみ上げたガスを高熱で分解処理する新しい方式の導入により早期除去が期待されることである。また基地外への漏出防止のため現行の十一本に加え新たに井戸を七本掘る計画をし、本年中に完成の予定で、除去の完全証明と、環境等の安全確認ができるまで作業を続けることである。

武蔵野台児童館・図書館の利用状況は

質問 四、五年前から社会教育と福祉的なもの、施設が溶け合う形で行政上新しい概念、「生涯学習」という考え方がされるようになったが、地

方自治体もそうした観点で今後考える必要がある。
①武蔵野台児童館・図書館は利用が多く、喜ばれているが、人員配置等どのように運営されているか。
②近隣の文化施設、福祉施設等を、例えば西多摩広域圏内の市民がお互いに乗り入



▲友好祭における在日米軍横田基地

文はどのようになっていくのか②今後どのような方向に進める考えであるのか
東田正治 議員
○羽村市との合併は考えていないか②瑞穂町を入れての話は合意しているか
○冬期間の民間プールの利用について
健康保持のため市民に利用券を発行してはどうか
○道路行政について
①旧奥多摩街道と五日市線(JR)と交差する地点の整備について②本六町会の引込線を利用して遊歩道にしたいのか
○社会教育について
①児童館の利用状況と充実について②地域体育館の

れ合いながら使うことができると生涯学習なり、社会教育の充実が図れると思うが、市の考え方は。

市長 ①児童館は開館以来十月末現在で延べ一万二千四百人の利用があり、工作・スポーツ教室のほか少子化対策として子供の支援センター事業も実施している。現在職員三人、非常勤の児童指導員三人、学童クラブの職員二人を配置している。

②児童館は幼児期から高校生までの生涯学習の場として活用、配慮する必要がある。さらに地域の健全育成、活動の拠点となるよう充実してい

高齢者住宅への

入居条件の緩和を

原 敏子 議員



▲完成近い市営住宅

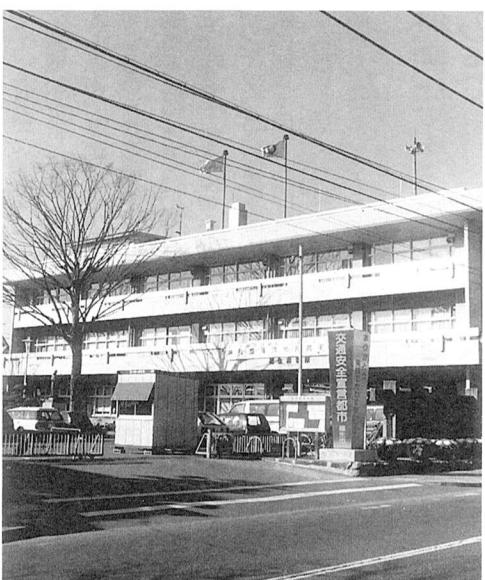
質問 ①待望の市営高齢者住宅は喜ばれているが、入居条件に保証人は市内在住となっていないことから、身寄りの少ない高齢者にとって厳しい保証人制度となっている。高齢者の実態に即したものはないので、入居条件から保証人制度を廃止してはどうか。

市長 ①待望の市営高齢者住宅は喜ばれているが、入居条件に保証人は市内在住となっていないことから、身寄りの少ない高齢者にとって厳しい保証人制度となっている。高齢者の実態に即したものはないので、入居条件から保証人制度を廃止してはどうか。

質問 ②国は九十三年改正の障害者基本法で「障害者保健福祉計画」策定を国に義務づけ、都道府県、市町村に対して策定努力が提起された。九十五年にその具体的内容と項目を「障害者プラン・ノーマライゼーション七カ年戦略」として決定したが、予算を制限して、このままでは絵に描いたもちになりかねない。

市長 ①待望の市営高齢者住宅は喜ばれているが、入居条件に保証人は市内在住となっていないことから、身寄りの少ない高齢者にとって厳しい保証人制度となっている。高齢者の実態に即したものはないので、入居条件から保証人制度を廃止してはどうか。

質問 全国的にいじめを苦にした子供の自殺が後を絶たない。全国的にいじめを苦にした子供の自殺が後を絶たない。



▲市役所本庁舎

保健福祉計画」を策定し、事業達成の努力をすることが緊急に求められているが、どのように考えているか。

市長 ①高齢者住宅の入居者は六十五歳以上で、一定条件を有する方を公募により決定し、さらに入居者には家賃等の滞納が生じた際、この債務を担っていただくため保証人を確保していただくことになつていく。

質問 北海道から始まった空出張や空会議、厚生省元事務次官逮捕、自治体職員の公務員持ち逃げ等、毎日公務員の不祥事がニュースで取り上げられるているが、このような不祥事を対岸の火事にならないために、どのような取り組みをしているのか。

市長 当市において不正旅費、食糧費における領収書の改ざんなどによる不正支出はないと確信している。

質問 北道から始まった空出張や空会議、厚生省元事務次官逮捕、自治体職員の公務員持ち逃げ等、毎日公務員の不祥事がニュースで取り上げられるているが、このような不祥事を対岸の火事にならないために、どのような取り組みをしているのか。

市長 当市において不正旅費、食糧費における領収書の改ざんなどによる不正支出はないと確信している。

質問 全国的にいじめを苦にした子供の自殺が後を絶たない。

質問 全国的にいじめを苦にした子供の自殺が後を絶たない。

質問 全国的にいじめを苦にした子供の自殺が後を絶たない。

質問 全国的にいじめを苦にした子供の自殺が後を絶たない。

質問 全国的にいじめを苦にした子供の自殺が後を絶たない。

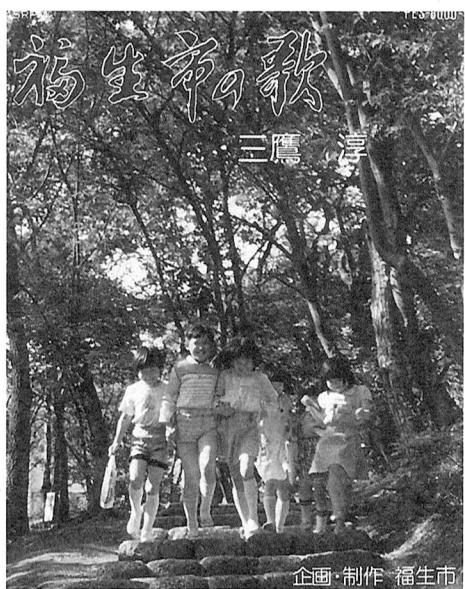
質問 全国的にいじめを苦にした子供の自殺が後を絶たない。

質問 全国的にいじめを苦にした子供の自殺が後を絶たない。

質問 全国的にいじめを苦にした子供の自殺が後を絶たない。

質問 全国的にいじめを苦にした子供の自殺が後を絶たない。

質問 全国的にいじめを苦にした子供の自殺が後を絶たない。



▲有料販売されているレコード

歌えますか、「福生市の歌」

鈴木暉一郎 議員

質問 昭和五十五年福生市制十周年記念の集いが開催され、そのとき「福生市憲章」と同時に「福生市の歌」が発表され、その会場で歌唱指導を受けたことがあるが、テンポもよく、歌いやすい、よい歌だと思

質問 昭和五十五年福生市制十周年記念の集いが開催され、そのとき「福生市憲章」と同時に「福生市の歌」が発表され、その会場で歌唱指導を受けたことがあるが、テンポもよく、歌いやすい、よい歌だと思

質問 昭和五十五年福生市制十周年記念の集いが開催され、そのとき「福生市憲章」と同時に「福生市の歌」が発表され、その会場で歌唱指導を受けたことがあるが、テンポもよく、歌いやすい、よい歌だと思

質問 昭和五十五年福生市制十周年記念の集いが開催され、そのとき「福生市憲章」と同時に「福生市の歌」が発表され、その会場で歌唱指導を受けたことがあるが、テンポもよく、歌いやすい、よい歌だと思

質問 昭和五十五年福生市制十周年記念の集いが開催され、そのとき「福生市憲章」と同時に「福生市の歌」が発表され、その会場で歌唱指導を受けたことがあるが、テンポもよく、歌いやすい、よい歌だと思

質問 昭和五十五年福生市制十周年記念の集いが開催され、そのとき「福生市憲章」と同時に「福生市の歌」が発表され、その会場で歌唱指導を受けたことがあるが、テンポもよく、歌いやすい、よい歌だと思

かに坂公園を親水公園に

質問 加美地区には大小あわせて六つの公園があり、総面積は三万㎡余りで、加美上

質問 加美地区には大小あわせて六つの公園があり、総面積は三万㎡余りで、加美上

て整備することは地形的、技術的にも不可能ではないと思うがどうか。玉川上水の水は福生、永田地区で取水され多摩川中央公園に流され、また熊川分水としても親しまれていることもあり、地元沿線の人々に多少なりとも還元するのも行政の仕事かと思う。

水利権のことで東京都との話し合いもあると思うが、どうか。

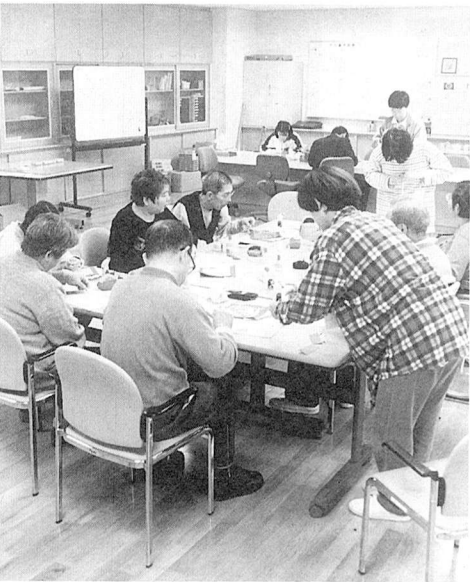
市長 玉川上水は加美地区から福東地区までの市内を縦断し、四千二百mに及ぶ水と緑の帯となっており、

福祉センターの

重度障害者対策は

田村正秋 議員

質問 福祉センターは多くの人に利用され、年間を通して数々のイベントが組まれ、一般の人にも親しまれているが、本年十月にスタートした重度障害者対策の利用状況と、機能回復訓練のための職員、



▲福祉センターでのデイサービスのようす

市長 障害者デイサービス事業の利用者は十三人で、事業開始後間もないということもあり今のところは受け入れに余裕がある状況である。職員の配置については、社会福祉協議会の職員があた

この水を昔から取り入れ地域の日常生活水に利用している通称田村分水、また熊川分水があるが、これらはさまざまな厳しい規制の中で許可され、長い間地域の人たちに利用されてきたものである。

中学校デリバリーランチ

今後の対応について

質問 二学期からデリバリーランチ方式が導入されたが、導入後のオーダーの数、チケットの販売数等ほどのくらいか。

また、三日前に注文を取るので予測できない事態に対処できず、なぜ当日オーダーができないのか、業者も注文数に限らず、それなりの対応が図られねばならないのではないか。

当日弁当を持ってこれない子供を中心に考えるべきではないかと思うが、注文方式の改善などを含めた今後のスムーズな運営について伺いたい。

教育長 十一月二十二日現在で食券の販売冊数は延べ三百七十六冊である。

弁当の注文数は、一中が延べ日数三十八日で四百四冊、二中が延べ日数三十八日で三百三十三冊、三中が延べ日数四十日で二百二十一冊、合計延べ日数百六十六日で九百三十八冊、一日当たりの平均注文数は二十四冊である。

当日注文が可能にできないかとのことだが、基本的には三日前となっております。注文方法を当日注文にした場合は食材の一括購入、調理時間の調整、売れ残り弁当に対する損失経費の計上等で現状の価格での販売は今後の研究課題になる。

デリバリーランチを利用して、今後の利用者の拡大や専門スタッフの確保等の問題を直実にクリアし、より充実した事業運営に努めてまいりたい。

中学校での業者弁当販売の実施後の注文数と今後の対応は

松山 清 議員

質問 ①内容をより明らかにするために、実施から今日までの注文数を学校別、月別に伺いたい。

②このように利用が低迷している業者弁当販売を公費を使ってなお継続していくのか問われていると思うが、今後どのような方向で進めていくのか。

教育長 ①十一月二十二日現在の食券の販売冊数は三百七十六冊であった。

一中は九月が八日で百七冊、十月が十七日で百八十六冊、十一月が十三日で百一冊である。二中は九月が六日で七十四冊、十月が十八日で百四十六冊、十一月が十四日で九十三冊、三中は九月が九日で四十一冊、十月が十八日で九十九冊、十一月が十三日で八十一冊である。

三校合計で延べ百六十六日、九百三十八冊で、平均一日二十四冊である。



▲9月から実施された中学校弁当

中で生徒、保護者の動向が見えてくると思われるので、今後の動向を見守っていききたい。

弱であり、このような状況に踏まえ、学校、業者との連携を密にしながら今しばらく様子を見てまいりたい。

消費税5%引き上げ
市財政への影響額と
市長の見解は

質問 ①政府は来年四月から消費税率を5%に引き上げる増税をしようとしているが、国民に大きな負担になることはもとより、地方自治体にとっても大きな負担になってくることは明らかであるが、影響額はどのくらいになるか、具体的な数字で示していただきたい。

②十月の総選挙でも税率引上げを公約した人は二十%に過ぎず、選挙後のNHKの世論調査でも六割以上が増税反対を明確に表明しており、福生市議会においても九月二十七日の議会で消費税引き上げの凍結に関する意見書を全会

一致で採択されているが、市長の見解を伺いたい。

市長 ①歳入面での地方消費税の福生市への配分については、国、都からの通知がないので試算はできないが、都が独自に見込んだ数値で試算すると、概算で六億一千万円程度の収入と見込んでいる。

この数値をもとに平成七年度決算ベースで試算すると、影響額は一億三千万円程度の減収と見込んでいる。

②この引き上げは高齢化を弱め、このような状況に踏まえ、学校、業者との連携を密にしながら今しばらく様子を見てまいりたい。

冬期間の民間プール

利用の考えは

東田正治 議員

質問 当市では他市にひけをとらない立派なプールを設け、シーズン中は安全面でも十分考慮して運営されているが、近隣市ではシーズンオフに温水プールを設置して市民の健康づくりに一役かっているところも多々ある。

②十月の総選挙でも税率引上げを公約した人は二十%に過ぎず、選挙後のNHKの世論調査でも六割以上が増税反対を明確に表明しており、福生市議会においても九月二十七日の議会で消費税引き上げの凍結に関する意見書を全会

一致で採択されているが、市長の見解を伺いたい。

市長 ①歳入面での地方消費税の福生市への配分については、国、都からの通知がないので試算はできないが、都が独自に見込んだ数値で試算すると、概算で六億一千万円程度の収入と見込んでいる。

この数値をもとに平成七年度決算ベースで試算すると、影響額は一億三千万円程度の減収と見込んでいる。

イクル社会の構築を考えたとき、市はある程度の人口規模が求められると考察するが、公共施設の設置を人口規模から見ると、一施設当たり保健所は十四万五千人、市町村立の病院は十六万人、ごみ処理は十八万人、し尿処理は三十万人、警察・消防署は十〜二十万人となっている。

学説では二十万人前後の自治体が最も理想であると言われている。

近隣市町を視野に入れた合併の協議会を設置してはどうかと思うが、見解は。

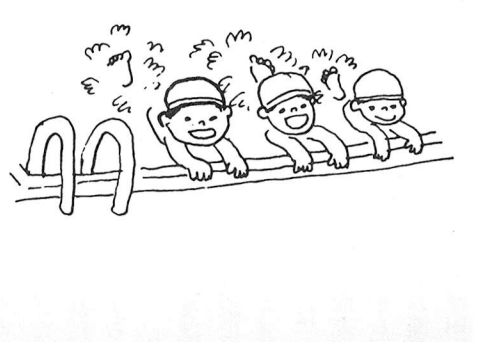
市長 効果的、効率的な行政運営を進める上での自治体の規模についても検討が必要であり、スケールメリットを考えると最大の行政改革ではないかと考えるが、合併問題は自治体としての存立そのものにかかわる問題である。

関係方面において大いに議論され、合併に向けての機運が醸成されていく中でよりよい方向を見いだしていただければと願っている。

当面は福生市行政改革大綱及び同推進計画の中で行政の適正規模、広域的な視点から合併や共同処理等について調査研究を進めていくのも一つの方策かと考える。

近隣市町との合併の考えは

質問 ごみ問題などのリサ



▲年間を通した健康づくりに水泳も欠かせない

三常任委員会の審査から

今定例会では、三常任委員会に八件と陳情十二件が付託され、また継続となっていた陳情十一件を合わせ、十二月十日、十一日、十二日の三日間建設・厚生・総務の順で開かれました。

建設委員会

建設委員会は十二月十日午前十時から開催しました。今回付託されたのは、補正予算と市道路線の認定、廃止の三件ですが、現地を視察した後審査しました。

◎議案第八十五号 市道路線の認定について

下の川改修に伴う市道田園二十八号線他二路線の改良工事の完成による道路線の認定で市道田園七十一号線として七小のハケ沿いから五小にかけての延長約千六百九十四mを、また同七十二号線として七小の五日市街道南側のきわ約四十八mを新しく認定しようとするもの、さらに加美平七十九号線として私道の寄附があったためと、市道三百二十六号線はJR五日市線貫通工事完成に伴う新階段と道路改良工事竣工により認定しようとするもので、清水坂の下流の整備は今後のりの部分の用地買収も計画されており、周辺の環境にマッチした道路とし

て整備していきたいとの説明があり、本案は原案どおり可決しました。

◎議案第八十六号 市道路線の廃止について

下の川の改修に伴うもので、JR五日市線下の貫通工事に関係し平成四年に現在の新階段を築造したため一路線を廃止すること。また市道田園二十八号線ほか二路線の改良工事が終了したので、市道田園十九号線と同二十八号線及び同三十八号線の一部を廃止しようとするものです。

主な質疑の説明として平成四年に新階段が完成したが、JRとの工事関係もあり田園二十八号線が完了時に市道二百八十五号線を廃止しようというところで、手続きが遅くなった。工事中仮設階段を設置したが、周辺住民には不便はかけなかったと思う。また説明用の図面に対象延長も記入願いたいとの意見があり、全員異議なく原案どおり可決しました。

この外、平成八年度福生市一般会計補正予算(第四号)(建設委員会所管分)を審査しました。

厚生委員会

厚生委員会は十二月十一日午前十時から開催しました。今回付託された案件は、補正予算二件、条例改正一件、陳情書十三件です。

◎議案第八十号 福生市国民健康保険条例の一部を改正する条例

福生市行政手続条例の新設

に伴うもので、具体的には国保税は地方税法の手続きによって実施することになっており、公権力の行使となる課税や滞納処分等は手続条例から適用除外となる。このような説明があり、原案どおり可決しました。

◎議案第八十四号 平成八年度福生市一般会計補正予算(第四号)

歳出予算のうち、当委員会に付託されたのは、民生費、衛生費で、委員からの質問に対して、今回の老人措置費の補正は三十一人分で特別擁護老人ホームに入所しているのは百三十七人となっている。市立保育園費その他の財源は分担金及び負担金の、保育料の公立分千八百八十二万九千円の減と、諸収入の管外受託児分保育所措置費の二百四十七万五千円の増で合計千六百三十四万四千円の減である。財源振替しているのは清掃業務費の財源として都市施設整備基金を当初一億六千万円を充当していたが、今回二千万円を、また児童館費においても二千万円をそれぞれ繰り戻そうとするものである。このような説明があり、原案どおり可決しました。

◎陳情第八一三四号 除籍簿・消滅された戸籍の附票等の保存期間の延長に関する陳情書

法律によって除籍簿等の十年や附票等の五年と定められている保存年限を延長してほしいというもので、委員より高齢化社会を迎え陳情の趣旨は理解でき、保存年限を延長することに賛成である。このような意見があり、陳情書は全員異議なく採択と決定しました。この陳情書の採択に伴い、意見書を提出しました。

その外ごみに関係した陳情書八件など四件を審査しました。

総務委員会

総務委員会は、十二月十二日午前十時から開催しました。委員会に付託されたのは条例改正二件、新設条例一件、補正予算一件、陳情書九件です。

◎議案第七十八号 福生市の一般職の給与に関する条例の部を改正する条例

職員給与を平均〇・九五%の引き上げを行うとするもので、委員からの質問に対して、改定率は国に準じたものであります。四月一日現在の職員数は四百五十五人、平均年齢は四十六歳、平均勤続年数が十七・十月、定期昇給とこの改定率を合わせた引き上げは三・三%一万四千二百一十円、改定後は年収にすると平均七百二十八万三千円、一時間当たり約三千八百円となる。平成七年四月一日現在のラスパイルスは百八三・二、昭島市百八・九、立川市百七・八、羽村市百六三・三、青梅市百六・六となつて

いる。意欲ある職員の育成と活性化を図ることを目的に、昇任昇格試験制度の導入と職務職階制による新しい給料表案を職員団体に提示したが、なんと九年度には実施したい。また委員から、ラスパイルスは下げよう努力願いたい。試験制度の実施については慎重に願いたい、との意見も

特別委員会活動から

横田基地対策特別委員会

十二月九日午前十時から委員会を開催し、平成八年度の補助事業や基地交付金等について協議しました。

◎平成八年度防衛補助事業の実施状況について

周辺対策事業として、雨水幹線改修事業、市道改修三本、公園の新設、消防ポンプ車購入、一中、三中外五カ所の防音機能復旧事業、仮称福東会館新設事業等二カ所、調整交付金事業として、用地買収二カ所のそれぞれ進捗状況が報告され、委員から、三中の講堂改修事業に關係し、平成五年度で実施設計費六百三十三万五千円の支出をしており、これを生かすようにすべきだ。その時点で報告すべきであった等の発言がありました。

また、協議事項終了後八月二十六日におけるNLPの中止要請に關し、正副委員長の不参加について協議がされ、その責を負い野口秀世委員長が可決しました。

道路交通問題対策特別委員会

十二月十三日午前十時から開催し、東京都に対する八年度の要望事項やJRの五日市線、八高線の改善状況について協議しました。

◎東京都に対する平成八年度要望事項の進捗状況について

平成八年度の要望事項として、通称陸橋通りや新興多摩街道の立体交差化等について、五月二十一日に都側に提

出協議を重ねてきました。大きな進展がないため委員会としてもいづれ都に対して促進方を強く要請することを確認しました。

◎JR五日市線改善及び八高線複線化の進捗状況について

五日市線については、「JR五日市線複線化促進協議会」において調査をしてきたが、特に熊川駅の関係では現在の位置と多摩川方面に設置の二案が示され、市として熊川駅周辺の整備を含め基礎的調査を複線化促進協議会事業として要望している。今後膨大な財政負担が大きな課題となっており、都やJR側に要望していくことと細部の調査をしていくことになっています。

八高線については、昨年三月電車化は実現した。複線化に伴う用地買収は福生市分は五十一%となっており、平成十一年度頃まではかかるかとJRは予測しています。

この外、福生市税賦課徴収条例の一部を改正する条例、平成八年度福生市一般会計補正予算(第四号)(総務委員会所管分)、陳情書九件を審査しました。



▲付託された案件を審査する総務委員会委員

編集後記

市議会だより第115号をお届けいたします。本号は平成八年十二月定例会の審議事項と結果及び市政全般にわたる活発な一般質問の内容を中心に編集いたしました。市議会だよりに対する皆さまのご意見をお寄せください。

◆編集委員(議席順)

- 山下 進、原 敏子、遠藤 洋一、吉沢嘉翁、田村正秋、小野沢久、東田正治、赤星行人、仲村清信